

平成 25 年 7 月 12 日

佐藤経済産業大臣政務官がウズベキスタンとカザフスタンに出張しました

7月7日(日)～10日(水)にかけて、佐藤経済産業大臣政務官は、ウズベキスタン共和国とカザフスタン共和国に出張し、アジモフ・ウズベキスタン共和国第一副首相、イセケシェフ・カザフスタン共和国副首相との会談等を実施しました。

1. ウズベキスタン共和国

(1) アジモフ第一副首相(兼)財務大臣等と会談

今般のJOGMECと国家・地質鉱物資源委員会とのウラン共同探査に関する契約締結に至ったことを歓迎するとともに、今後の支援を確認しました。

また、我が国企業のウズベキスタンへの投資促進に向けたビジネス環境整備、特に外貨管理・海外送金に関する規制の改善について期待を伝えました。

(2) ウラン共同探査署名式

上記会談に引き続き、JOGMECと国家・地質鉱物資源委員会とのウラン共同探査に関する契約締結式に、日本政府代表として立会いました。(先方は、アジモフ第一副首相(兼)財務大臣がウズベキスタン政府を代表。)



アジモフ第一副首相(兼)財務大臣と会談



ウラン共同探査契約式立会い

2. カザフスタン共和国

(1) イセケシェフ副首相(兼)産業・新技術大臣と会談

両国間の協力事業を政府間でフォローする「経済・投資関係促進ロードマップ」の重要性、本年 2 月に大筋合意した二国間投資協定の早期締結、外国人労働許可制度の運用の改善、両国首脳・閣僚のさらなる交流の促進について一致しました。

また、カザフスタンの原子力発電所建設計画に対して、我が国は福島第一原子力発電所事故の経験と教訓を活かして、安全面をはじめとする支援を行っていきたい旨を伝えました。先方から、日本の支援への期待が示されました。

(2)ベクテミロフ国家福祉基金執行役員と会談

両国による各種協カプロジェクトを着実に推進していくことで一致しました。

原子力分野については、ウラン鉱山開発や、カザフスタンでの原子力発電所建設計画においても、両国が協力していく重要性について意見が一致しました。



イセケシェフ副首相(兼)産業・新技術大臣と会談



ベクテミロフ取締役と会談

(本発表資料のお問い合わせ先)

通商政策局 ロシア・中央アジア・コーカサス室長 津田

資源エネルギー庁 参事官 野田

担当者：ロシア・中央アジア・コーカサス室 小口

電話：03-3501-2838(直通)

原子力政策課 富永

電話：03-3501-1991(直通)